



2

【特集1】
就職サポート



3

【特集2】
就職活動レポート
藤田 純平さん
社会福祉学科 社会福祉専攻
鎌田 亜沙美さん
社会福祉学科 介護福祉専攻

4

【特集2】
就職活動レポート
伊出 隆祐さん
福祉経営学科
永井 礼桜奈さん
保育学科



5

【ゼミナールインタビュー】
矢野 宏光ゼミ



カタリナ ひろば

Vol.22 No.2
2010.03

聖カタリナ大学
聖カタリナ大学短期大学部
www.catherine.ac.jp



6

【教員ESSAY】
聖カタリナ大学
ルーツの国スペインへ
人間健康福祉学部 宮武 信枝



7

【Campus News & Topics】
韓国の慶北科学大学と
国際交流協定を締結しました
高校1・2年生、
保護者対象説明会を開催しました!!
いずみ寮送別会を行いました

7

【サークル紹介】
はっぴーデザイン
社会福祉学科4年 角藤 純さん



8

【在学生が語るキャンパスライフ】
神崎 佑也さん
社会福祉専攻
大野 勇輔さん
福祉マネジメント専攻



ゼミナール インタビュー



矢野 宏光 ゼミ

ゼミのテーマを教えてください。

「健康心理学」「運動心理学」「スポーツ心理学」

スポーツ、身体運動、身体活動を通して、それを行う人の心理にどのような影響や恩恵があるかを研究します。

例えば、スポーツ心理学領域では、試合で練習時の力を十分に出し切れないのはなぜか、どのようにすればそれを克服し最高のパフォーマンスをあげられるかなどを探ります。運動心理学では、一般人が身体運動・身体活動を行うことによって、その気分がどのように変化するかなどを研究します。健康心理学では、さらに大きな枠組みでメンタルヘルスを向上させるための行動変容、健康政策まで研究領域が広がります。

ゼミの特徴を教えてください。

専門知識の修得と同時に、社会に出るために必要なスキルや能力も育成することに重点をおいています。

大学ですから専門の知識を身に付けるのは当然ですが、その知識は活かされなければ何の役にも立ちません。知識を人に伝え実践できるように、自らもその知識を体現できることを目指します。

ゼミのスタイルを教えてください。

1. 講義

専門知識修得のための講義(少人数での講義形式で勉強します)。



2. プレゼンテーション

健康心理学領域における主要なキーワードを抽出し、二人一組のペアに割りあてます。各ペアはそのキーワードについて専門書・論文などを多方向から検索し専門知識を深めていきます。



次に、プレゼンテーションソフトを用いて、そのキーワードについてのプレゼン準備を整えます。そしてゼミメンバーに分かりやすく説明(プレゼンテーション)し、質疑・応答を行います。

つまり、健康心理学領域において重要な専門用語についての知識修得、コンピューターを用いたプレゼンテーション資料の作成、発表、質疑・応答までの一連の過程を体験的に学習し、知識とスキルを身につけるようにしています。この作業は実社会に出た時に必ず役立つものです。

3. ディスカッション



集団でディスカッションスキルの向上を目指した演習を行います。プレゼンテーションでの質疑・応答に加えて、全員でディスカッションを行う機会を設けています。

話し合いの場での役割の割り振りからファシリテーションまでを自然に体験できることを目指しています。これは就職試験での集団面接や集団討論にも活かされることを期待しています。

矢野ゼミはこんなゼミ

矢野ゼミをひと言で表現すると「アットホーム」なゼミです。ゼミ生同士はもちろん、先生との距離感も近い。また、ゼミの同級生だけでなくゼミの先輩達との交流も盛んで、「同じゼミの仲間」というまとまりが強いですね。

授業はかなり本気モードです！専門領域の講義からはじまり、研究発表、プレゼンテーション、質疑応答、集団討議など、様々な内容や方法論を学びます。矢野先生の言葉を借りるならば、「社会に出て困らない実践力をつけろ」です。ですから実際、「きたえられる感」はすごくありますよ。

でも、そんな先生もひとたび授業を離れるといつも以上に親しみやすいです。学生時代の体験談など興味深い話を伺いながら、改めて「先生にも学生時代があったんだあ」と不思議な感じがします。矢野ゼミでは学外の活動にも積極的です。スポーツ大会やゼミコンパ、ゼミ旅行など様々な活動(だいたい僕が企画・幹事します)が予定されています。いい先生といい仲間に恵まれて、矢野ゼミに入って大学生生活はとても充実しています。

社会福祉学科 3年 野村 和匡



聖カタリナ大学 ルーツの国スペインへ

人間健康福祉学部 宮武 信枝

jHola! (オラ) —— 2009年9月3日夜、7時間の時差と乗継ぎで16時間余の空の旅という長い1日の終わり、景色と喜びに疲れも吹き飛ばした5人の学生といよいよマドリッドに到着、12日間のスペイン社会福祉・文化研修プログラムが始まりました。

聖カタリナ大学は、本学ルーツの国スペイン北部にあるレオン大学と、2005年9月に相互協力協定を結んで以来、国際交流委員会とレオン大学社会福祉学部の協力による「国際福祉論」履修を主としたスペイン海外研

修を毎年企画、募集してきました。費用の問題もあって、これまで大学として催行できる人数の学生が集まりませんでした。厳しい経済情勢の中で奮起された学生と保護者の方にも励まされ、新型インフルエンザへの警戒も検討しつつ、ついに第1回スペイン研修旅行が実現できたのです。楽しくチームワークもよいグループとなり、初の海外旅行でパスポート取得から準備を始めた学生たちも、帰国するや「スペイン大好き！また行きたい、老後には住みたい！」というほど。

今回のプログラムは、レオン拠点の社会福祉研修に加え、限られた日程の中でスペインの歴史と文化に触れるよう、世界遺産としても有名なサンティアゴ巡礼道にあるレオン市内ではカテドラル、サンイシドロ、サンマルコスの名教会、ブラサマヨールの野外市場、隣のアストルガ市では司教館(サグラダファミリアで有名なガウディ建築の現・巡礼博物館)、マドリッドではブラド美術館とレイナ・ソフィア近代芸術センター(ピカソの「ゲルニカ」等)、近郊の世界遺産ではセゴビア(城、水道橋)、トレド(カテドラル等)の見学を含めました。マドリッド滞在中は日西文化協会の古村会長ご夫妻が温かく家族的で適切な指導と案内をくださり、レオン大学社会福祉研修も、副学部長で社会福祉教会のシスター・マリア・ヘスははじめ先生方が、寮・特別講義・見学

先等すべてよく準備してくださったお陰で、今後の展開に向け充実した第一歩を築くことができました。一般のツアーやテレビでは見られない本学ならではの見学コースを挙げると——レオン県立アストルガ障害者職業センター、アストルガ教区カリタス重



レオン大学学長、社会福祉学部副学部長とともに

度障害者センター、国立障害者情報研究センター、自治州立高齢者・デイケアセンター、レオン市立老人ホーム、レオン市民総合センター(「社協」と「コミセン」)、レオン刑務所(社会復帰施設)、アルツハイマー家族連合会デイケア施設、

乗馬療法センター——ということになります。もちろん大学キャンパスと本部を訪問し、学長ホセ・アンヘル・エルミダ・アロンソ氏は交流促進の支援策を示されました。この間、特別講義「スペインの社会福祉学・ソーシャルサービスと社会福祉制度・社会福祉専門職組織」も含め、先生方と施設の方々も随時引率と案内に尽力、歓待してくださったホスピタリティに、みな感謝感激。修了証書を受けてレオン最後の晩、ちょうど本学の母体である修道会の国際研修で滞在中の総長はじめ50名ほどのシスターたちとレオン修道院で会食・交流した後、カテドラル夜景を鑑賞、翌日の市内見学後マドリッドに戻って一泊し、帰国の途に着いたのです。

さて、こうして旅程を振り返ると、慌しく駆け回って終わったように思われるかもしれませんが、とにかくよく歩き、景色・建物もよく見、買い物やスペイン料理・「パル」の文化も存分に楽しみました。しかし、学生たちは日本とは違う文化や環境に触れながら伸び伸びとかつ真剣に学び、スペインの人々の温かい人柄に支えられ、人生で忘れられ

ない出会いと体験に思われた確信を抱いて感謝しています。また、挑戦してみることの大切さ、「すべてが観光であり、勉強であり、研修であった」体験をここで終わらせてはいけない、今後の大学生活にも生かし、未来へつないでいきたいと考えています。4年半ぶりです。スペインを旅した私も、思えば以前3年足らずの滞在中の体験があつての今です。今回は訪問できませんでしたが、修道会の原点と現在を結ぶ特別な印象を受けた「ドミニコ会的な」場所、聖ドミニコの故郷カレルエガとマドリッド「聖マルチンの家」、そこで肌で感じた「祈りと活動」など、スペインの人々の人格的な感性・精神性は忘れられません。一方、レオンの人々も私を思い出してくださいました。驚いたのは、社会福祉学部の階段で出会ったアンヘルという学生で、「きみのことを覚えている、いくつかの科目で一緒に勉強した」と声をかけてくれました。その午後私たちを引率された社会学の先生(教区司祭)が、傍からにこやかな顔で「彼はワルだぞ！」と口を挟みます。なるほど、あの頃一年生、食ってかかる口調で先生を困らせていましたし、もう既に卒業しているはずですが…。特に近況も聞けずで



アストルガ教区カリタス重度障害者センター

したが、当時不安げでぎらぎらした目だったアンヘルが、確かに深く落ち着いた眼差し的好青年になっていたのです。帰国後11月下旬、本学男女共学一期生の卒業生に会ったときも、同じような印象を受けました。

学生たちは、人生の貴重な出会いと体験を——時には自ら挑戦し、また時には自らは望まないかたちで——日々重ねながら成長しています。今回のスペイン研修旅行でも、私は学生それぞれに、何か頼もしい希望を感じて帰ってきました。学生の中の実りが、聖書にあるからし種のように、パン種のように、一人ひとりの人格からよりよい社会の建設へとつながるよう祈りながら。

Campus News & Topics

韓国の慶北科学大学と 国際交流協定を締結しました

【12月8日(火)】

聖カタリナ大学は、12月8日(火)に韓国の慶北科学大学と国際交流協定を締結しました。慶北科学大学とは、教育の国際化を目的とし、両大学間の文化的繁栄、学術的進歩、及び両国民の友情の絆を強めるために、相互協力協定を取り交わしました。今後は、学生の交流、教員及び研究者の交流について推進していきます。
(慶北科学大学ホームページ <http://www.kbsu.ac.kr/>)



高校1・2年生、 保護者対象説明会を開催しました!!

【12月13日(日)】

12月13日(日)聖カタリナ大学・同短期大学部では、高校1・2年生やその保護者を対象に、大学説明会を開催しました。県内各地から、高校生や保護者の方々を合わせて約60名のご参加をいただきました。

参加された方々からは、「大学説明会に参加して楽しかった。興味がわいた。」「パンフレットではわからないことなど、実際の話しを聞いてよく分かった。」「また来たい。オープンキャンパスにも行ってみたい。」など、嬉しい感想をいただきました。



いずみ寮送別会を行いました

【2月1日(月)】

本学キャンパス内にある女子学生寮いずみ寮で、卒業生の送別会が行われました。寮生全員と教職員を含めた食事会、レクリエーションなど寮内は盛り上がりました。卒業する学生にはキャンパスライフや寮生活の思い出を語ってもらいました。最後に、後輩から卒業する学生一人ひとりにケーキのプレゼントもありました。卒業生は寮生活を終え、それぞれの路に進みます。寮生活を通して培ったものを今後の生活に活かして頑張ってくださいと思います。



サークル紹介 はっぴーデザイン



TABLE FOR TWO (以下TFT) という活動について紹介させていただこうと思います。このTFTという活動は開発途上国の飢餓の問題と先進国の飽食・健康問題という世界の食の不均衡を解消しようと2007年の秋にこの日本で始まった活動です。

私たち「はっぴーデザイン」というサークルではこの活動を四国に広めようと活動しています。みなさんも一緒にアフリカの子どもたちに給食と笑顔を届けませんか!?

社会福祉学科4年 角藤 純

◆ヘルシーランチで社会貢献を『テーブル・フォー・ツー』

聖カタリナ大学では、学生食堂でTFTメニューを食べると代金の一部がアフリカの学校給食に寄付される「テーブル・フォー・ツー」の取り組みが広がっています。

メニューは「はっぴーデザイン」のメンバーが考案し、低カロリーでヘルシーなところが人気です。2008年10月のオリジナルメニュー販売開始から、2009年末までに1,300食以上を販売しました。

在学生在語る キャンパスライフ

神崎 佑也

Yuya Kanzaki

社会福祉専攻2年



Q. 今、どのようなことを学んでいますか？

社会福祉と精神保健の分野に興味があったので、専門分野では精神保健福祉について学んでいます。大学では2年生からコース選択をするので、自分のやりたい分野を学ぶことができます。

Q. サークル・学校活動はどのようなことをしていますか？

学友会に所属しています。学友会は高校でいう生徒会のようなものです。入学式、オープンキャンパス、クリスマス会などの行事では、学友会が中心となって活動します。また、現在3 on 3のバスケット部を立ち上げようとしています!!

Q. 将来の夢や目標としていることは何ですか？

目標は、精神保健福祉士の国家試験に合格することです。将来の夢は、精神保健福祉士として利用者の方々の社会復帰の力になることです。

Q. 聖カタリナ大学の好きなところを教えてください！

1・2年生ではクラスで行動し、3年生からゼミに分かれます。同じ学科の人はもちろん、他の学科の人とも話す機会が多いので、たくさんの人と仲良くなれます。



大野 勇輔

Yusuke Ono

福祉マネジメント専攻2年



Q. 今、どのようなことを学んでいますか？

社会福祉、社会保障、児童福祉などの福祉分野はもちろん、ビジネスやマネジメントなどに関しても幅広く学んでいます。

Q. サークル・学校活動はどのようなことをしていますか？

サークルはフォークソング部に所属しています。4人組バンド「Optical Flow」でリードギターを担当し、学園祭やライブハウスなどで活動しています。

Q. 将来の夢や目標としていることは何ですか？

将来は、実習や大学の授業で学んだことを活かし、人に「ありがとう」と言ってもらえる仕事に就きたいです。

Q. 聖カタリナ大学の好きなところを教えてください！

教職員や学生がとにかくみんな温かい!!先輩から実習に関するアドバイスを受けることができ、不安な気持ちなくなります!!



学校法人 聖カタリナ学園

聖カタリナ大学

カタリナひろば vol.22 No.2

編集・発行

広報委員会

〒799-2496 松山市北条660

TEL (089) 993-0702 (代)

kouhou@catherine.ac.jp